



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 タカノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,931	4.6	269	42.6	359	39.5	238	38.9
29年3月期第3四半期	14,599	6.9	469	151.4	593	133.0	389	189.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 369百万円 (21.6%) 29年3月期第3四半期 471百万円 (1,167.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	15.68	
29年3月期第3四半期	25.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	36,874	27,903	75.7	1,836.22
29年3月期	35,169	27,746	78.9	1,825.91

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 27,903百万円 29年3月期 27,746百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	2.3	1,400	27.8	1,500	25.7	1,050	24.2	69.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	15,721,000 株	29年3月期	15,721,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	524,811 株	29年3月期	524,811 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	15,196,189 株	29年3月期3Q	15,196,214 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日）におけるわが国経済は、朝鮮半島・中東情勢の緊迫化といった地政学リスクや米国大統領の今後の政策の影響等による下振れリスクがあるものの、国内の企業収益増加を背景とした雇用・所得環境等の改善により、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Innovation 68」の達成に向け、計画の2年目にあたる当期は、計画の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画で定める各施策の前倒し実行と一層の具体化に努めてまいりました。

具体的には、平成29年11月1日より、株式会社トプコンおよびその子会社である株式会社トプコンテクノハウスより、半導体関連分野にかかる外観検査装置事業（Vi事業）を譲り受けました。今後は、譲り受けたVi事業と当社既存事業の融合を図り、高いシナジー効果による半導体関連検査装置分野の強化拡充を実現させ、中期経営計画の達成につなげてまいります。

この他には、新営業分野に関する製品開発・販売活動、各種の事業提携活動およびグローバル販売体制の拡充に注力する一方、引き続き、製造ラインへのロボットやIoTを活用したシステムの導入や間接部門を中心とした合理化プロジェクトの推進等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

しかしながら、住生活関連機器および産業機器等の販売は増加したものの、検査計測機器の販売が低調であったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,931百万円で、前年同四半期比667百万円（4.6%）の減収となりました。

利益面につきましては、合理化等積極的なコストダウン活動の推進に努めたものの、製品競争力向上を目的とした研究開発の強化により、研究開発費が前年同四半期比で198百万円増加したことにより、営業利益269百万円（前年同四半期比199百万円、42.6%の減益）、経常利益359百万円（前年同四半期比234百万円、39.5%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益238百万円（前年同四半期比151百万円、38.9%の減益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	5,826	6,330	8.6%	△48	51	－%
検査計測機器	5,346	4,006	△25.1%	272	△93	－%
産業機器	1,622	1,855	14.3%	218	254	16.6%
エクステリア	622	750	20.6%	△35	9	－%
機械・工具	1,181	989	△16.3%	54	85	55.9%
報告セグメント計	14,599	13,931	△4.6%	461	307	△33.3%
セグメント間取引消去	－	－	－%	7	△38	－%
合計	14,599	13,931	△4.6%	469	269	△42.6%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、生産性向上に向け工場レイアウトの変更、製造工程の見える化に向けた活動、ロボット化の推進等に取り組んでまいりました。また、医療関連分野向け製品の営業体制の拡充を図ってまいりました。

その結果、オフィス家具需要が底堅く推移したこと等により、売上高は6,330百万円で前年同四半期比503百万円、8.6%の増収となりました。利益面では積極的なコスト削減活動に努めた結果、セグメント利益は51百万円（前年同四半期はセグメント損失48百万円）の増益となりました。

## （検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体関連検査装置分野の強化拡充に向けた活動に加え、中国・台湾市場向け液晶検査装置および自動車業界等の新用途市場向け検査装置の販売活動に注力してまいりました。また、製品の競争力向上を図るべく、高速・高精細な次世代光学センサーの開発および部材コストの低減を可能とする新検査手法の開発に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上高は4,006百万円で前年同四半期比1,339百万円、25.1%の減収となりました。利益面においては、設計の標準化等コストダウン活動を積極的に推し進めたものの、収益性の高い製品分野の販売が伸び悩んだことおよび研究開発にかかる先行投資の影響等により、セグメント損失は93百万円（前年同四半期はセグメント利益272百万円）の減益となりました。

## （産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、国内および海外顧客に向けた積極的な営業提案活動、医療関係分野および半導体向け電磁アクチュエータの販売拡大、新たなコア加工技術開発等に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は1,855百万円で前年同四半期比232百万円、14.3%の増収となりました。また、セグメント利益は254百万円で、前年同四半期比36百万円、16.6%の増益となりました。

## （エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向け、新製品を中心とした広告宣伝活動や販売活動に注力するとともに、営業体制の拡充に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は750百万円で前年同四半期比128百万円、20.6%の増収となりました。また利益面では、販売の拡大にともなう粗利益額の拡大、積極的な経費削減活動等により、セグメント利益は9百万円（前年同四半期はセグメント損失35百万円）と、黒字転換を果たすことができました。

## （機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の新規顧客開拓に向け、販売促進活動に注力してまいりました。しかしながら、前四半期にありました機械にかかる大口物件の販売が当期にはなかったこと等により売上高は989百万円で、前年同四半期比192百万円、16.3%の減収となりました。一方、利益面においては、収益性の高い商品分野の販売比率が上昇したこと等により、セグメント利益は85百万円で、前年同四半期比30百万円、55.9%の増益となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は36,874百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,704百万円増加いたしました。純資産合計は27,903百万円となり、前連結会計年度末と比較して156百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は75.7%と前連結会計年度末と比較し、3.2ポイント減少いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対して、期末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだことにより、受取手形及び売掛金が1,968百万円減少した一方、今後の販売を控えた製品にかかる仕掛金が1,785百万円、商品及び製品が519百万円、原材料及び貯蔵品が121百万円それぞれ増加したこと等にもない、流動資産合計が771百万円増加し、24,466百万円となりました。固定資産合計は、当社伊那工場において建設中の表面処理設備の工事が進んだことにより、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が219百万円、検査計測機器セグメントにおける半導体等関連検査装置事業の譲り受けにより、のれんが130百万円、投資有価証券が188百万円、投資その他の資産のその他に含まれる長期性預金が200百万円それぞれ増加したこと等にもない、12,407百万円となりました。

負債の部については、前連結会計年度末に対して、未払法人税等が219百万円減少した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が1,145百万円、前受金が716百万円それぞれ増加したこと等にもない、負債合計は1,547百万円増加し、8,970百万円となりました。

純資産の部については、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、利益剰余金が25百万円増加するとともに、株式相場等の回復により、その他有価証券評価差額金が126百万円増加し、純資産合計は前連結会計年度比156百万円増加の27,903百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績につきましては、現時点で、平成29年5月9日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,248,914	11,197,829
受取手形及び売掛金	8,209,702	6,241,525
有価証券	—	100,000
商品及び製品	527,952	1,047,458
仕掛品	2,338,779	4,123,887
原材料及び貯蔵品	837,821	958,977
その他	531,795	797,328
貸倒引当金	△336	△468
流動資産合計	23,694,629	24,466,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,619,032	2,712,726
機械装置及び運搬具（純額）	607,020	764,005
土地	4,250,044	4,250,044
その他（純額）	692,478	932,249
有形固定資産合計	8,168,575	8,659,026
無形固定資産		
のれん	—	130,819
その他	261,334	218,418
無形固定資産合計	261,334	349,238
投資その他の資産		
投資有価証券	2,649,562	2,838,062
その他	401,592	567,675
貸倒引当金	△5,831	△6,048
投資その他の資産合計	3,045,323	3,399,689
固定資産合計	11,475,233	12,407,954
資産合計	35,169,863	36,874,494

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,778,429	2,048,896
電子記録債務	1,601,904	2,476,740
未払法人税等	255,821	36,087
前受金	1,008,481	1,725,391
賞与引当金	414,862	225,630
役員賞与引当金	17,604	—
その他	1,328,056	1,327,735
流動負債合計	6,405,160	7,840,482
固定負債		
長期借入金	140,000	266,580
役員退職慰労引当金	10,080	—
退職給付に係る負債	461,288	482,741
その他	406,441	381,141
固定負債合計	1,017,810	1,130,462
負債合計	7,422,970	8,970,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	23,202,275	23,227,822
自己株式	△272,477	△272,477
株主資本合計	27,301,115	27,326,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,640	508,797
為替換算調整勘定	51,225	53,544
退職給付に係る調整累計額	11,910	14,545
その他の包括利益累計額合計	445,776	576,886
純資産合計	27,746,892	27,903,549
負債純資産合計	35,169,863	36,874,494



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,599,347	13,931,717
売上原価	11,708,345	10,885,530
売上総利益	2,891,001	3,046,186
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	614,186	664,542
賞与引当金繰入額	54,303	66,506
退職給付費用	42,999	34,184
貸倒引当金繰入額	△3,465	131
役員退職慰労引当金繰入額	1,080	60
研究開発費	416,498	614,976
その他	1,295,946	1,396,218
販売費及び一般管理費合計	2,421,549	2,776,620
営業利益	469,452	269,566
営業外収益		
受取利息	15,600	10,514
受取配当金	25,989	28,845
為替差益	42,579	8,981
その他	46,466	50,904
営業外収益合計	130,636	99,246
営業外費用		
支払利息	1,635	1,484
固定資産除売却損	2,975	5,730
その他	1,688	2,390
営業外費用合計	6,299	9,604
経常利益	593,789	359,207
特別損失		
固定資産売却損	25,734	—
特別損失合計	25,734	—
税金等調整前四半期純利益	568,055	359,207
法人税、住民税及び事業税	80,809	86,932
法人税等調整額	97,469	33,981
法人税等合計	178,279	120,913
四半期純利益	389,776	238,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,776	238,293

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	389,776	238,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121,178	126,156
為替換算調整勘定	△54,400	2,318
退職給付に係る調整額	14,870	2,635
その他の包括利益合計	81,648	131,109
四半期包括利益	471,424	369,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	471,424	369,403
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	5,826,614	5,346,067	1,622,458	622,315	1,181,890	14,599,347
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,822	110,773	6,538	6,338	339,341	496,813
計	5,860,437	5,456,840	1,628,996	628,653	1,521,231	15,096,160
セグメント利益又は損失(△)	△48,002	272,285	218,288	△35,935	54,938	461,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	461,574
セグメント間取引消去	7,878
四半期連結損益計算書の営業利益	469,452

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	6,330,403	4,006,404	1,855,204	750,484	989,221	13,931,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	43,995	55,058	22,123	9,363	653,550	784,091
計	6,374,398	4,061,463	1,877,327	759,847	1,642,772	14,715,809
セグメント利益又は損失(△)	51,563	△93,314	254,512	9,242	85,637	307,641

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	307,641
セグメント間取引消去	△38,075
四半期連結損益計算書の営業利益	269,566

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「検査計測機器」セグメントにおいて、事業譲受によるのれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては135,330千円であります。